

【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用して下さい。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意下さい。

[成果情報名] ニラ品種「パワフルグリーンベルト」及び「エナジーグリーンベルト」を用いた5月から10月の継続出荷体系

[要 約] ニラ品種「パワフルグリーンベルト」と「エナジーグリーンベルト」を用いることで5月から10月の継続出荷が可能である。最も収量及び収益性の高い品種と収穫時期の組合せは、春に「パワフルグリーンベルト」、夏に「エナジーグリーンベルト」、秋に「エナジーグリーンベルト」を収穫する体系である。

[部 署] 山形県最上総合支庁産業経済部農業技術普及課・産地研究室

[連絡先] TEL 0233-22-2201

[成果区分] 普

[キーワード] ニラ、継続出荷、収益性、「パワフルグリーンベルト」、「エナジーグリーンベルト」

[背景・ねらい]

ニラ産地の維持・拡大のため、最上地域の主要2品種を用いた5月から10月の継続出荷体系について検討し、最も収量及び収益性が高い品種と収穫時期の組合せを明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 ニラ品種の5月から10月の継続出荷には、抽苔盛期を7月上中旬に迎える「パワフルグリーンベルト」及び抽苔盛期を5月下旬から6月上旬に迎え、夏秋期の収量が高い「エナジーグリーンベルト」が適する（図1、表1）。
- 2 最も収量及び収益性が高い品種と収穫時期の組合せは、春に「パワフルグリーンベルト」、夏に「エナジーグリーンベルト」、秋に「エナジーグリーンベルト」を収穫する体系である（図1、図2、表1）。
- 3 その場合の1時間当たり所得額は、春どり「パワフルグリーンベルト」では1,100円程度、夏どり「エナジーグリーンベルト」では1,400円程度、秋どり「エナジーグリーンベルト」では1,700円程度と試算される（表1）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 定植年は株養成とし、圃場は春どり用、夏どり用、秋どり用に分け、収穫期間以外は株養成をし、定植2年目及び3年目に収穫調査を行なった結果である。
- 2 経営試算で使用した調製時間は、売上数量と1時間当り調製重から計算した。1時間当り調製重は商品一本重との回帰式より算出した（令和4年度新しい技術の試験研究成果「ニラの収穫時の形態的特徴が出荷時の調製能率に及ぼす影響」を参照）。
- 3 「パワフルグリーンベルト」の秋どりでは、収量及び1時間当り所得額は「エナジーグリーンベルト」に比較して低いものの、1時間当り所得額は1,400円程度と試算される。
- 4 関連する既往の成果（新しい技術の試験研究成果）
 - 平成28年度「にら品種「パワフルグリーンベルト」秋どりの刈り捨て時期（普）」
 - 平成29年度「にら品種「エナジーグリーンベルト」の夏どりにおける特性（指）」
 - 平成29年度「にら品種「エナジーグリーンベルト」の夏どり出荷体系における収益性（普）」
 - 令和2年度「にら品種「エナジーグリーンベルト」の秋どりにおける収量性（指）」

[具体的なデータ]

月	5			6			7			8			9			10		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
春どり パワフルGB	収穫 ①			収穫 ②			収穫 ③			抽苔盛期 *—*—*			抽苔期 *—*—*			株養成		
夏どり エナジーGB	株養成			抽苔盛期 *—*—*			抽苔期 *—*—*			刈捨 収穫 ×—①			収穫 ②			株養成		
秋どり エナジーGB	株養成			抽苔盛期 *—*—*			抽苔期 *—*—*			刈捨			収穫 ①			収穫 ② 株養成		
試験時の 収穫日	1年目(R2) 5/11			6/1 6/25			(7/2) 7/20			8/11 (8/24)			9/15			10/5		
刈捨日	2年目(R3) 5/17			6/2 6/16			(7/1) 7/19			8/15 (8/30)			9/20			10/20		

図1 「パワフルグリーンベルト」及び「エナジーグリーンベルト」を用いた継続出荷体系

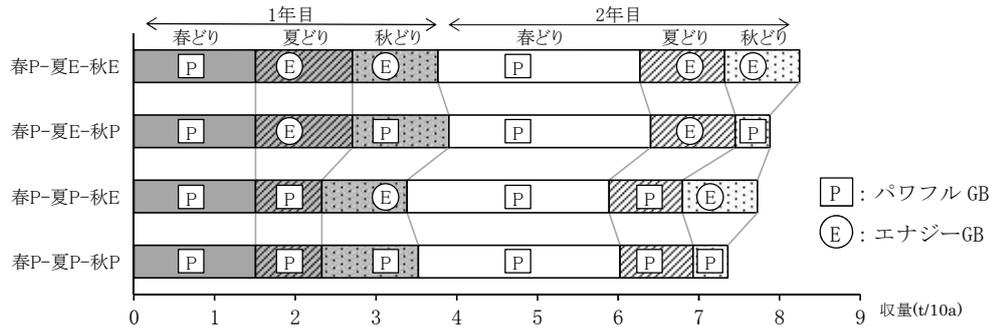


図2 春どり～秋どりにおける品種組み合わせと収量（春・夏・秋で10aを等分した場合の収量、春どりにエナジーGBを収穫する場合は収量が低いことから省略。）

表1 経営試算

項目	NO	春どり10a		夏どり10a		秋どり10a		春パワフルGB 10a +夏エナジーGB 10a +秋エナジーGB 10a	備考
		エナジーGB	パワフルGB	エナジーGB	パワフルGB	エナジーGB	パワフルGB		
売	1	1,715,170	2,418,587	2,111,847	1,762,314	2,251,735	1,879,337	6,782,169	(*)1
数量 (kg)	2	4,243	6,018	3,374	2,589	3,015	2,508	12,407	2年間平均
平均単価 (円/kg)	3	404	401	625	680	746	749	546	(1)÷(2)
物 財 費	4	305,237	305,237	305,237	305,237	305,237	305,237	915,711	(*)2
支 払 子	5	3,378	3,378	3,378	3,378	3,378	3,378	10,134	(*)3
支 払 地 代	6	12,710	12,710	12,710	12,710	12,710	12,710	38,130	(*)4
販 売 費	7	550,995	779,706	531,607	425,693	520,653	433,882	1,831,966	(*)5
費 用 計	8	872,320	1,101,031	852,932	747,018	841,978	755,207	2,795,941	(4)+(5)+(6)+(7)
1時間当たり調製重(kg/h)	9	7.19	7.00	5.58	4.19	5.08	4.23	4.37	(*)6
労働時間	10	850	1,164	864	859	812	799	2,840	(11)+(12)
調製時間(h)	11	590	860	604	618	594	593	2,058	
その他作業時間(h)	12	260	304	260	241	218	206	782	(*)7
所得額	13	842,850	1,317,556	1,258,915	1,015,296	1,409,757	1,124,130	3,986,228	(1)-(8)
所得率	14	49.1%	54.5%	59.6%	57.6%	62.6%	59.8%	58.8%	(13)÷(1)×100
1時間当たり所得額	15	991	1,132	1,456	1,182	1,736	1,408	1,403	(13)÷(10)

注 品目別経営指標を元に試算、定植2年目及び3年目に収穫することを想定した収穫年平均、単位：円（税抜き）
 (*1) 各収穫毎に数量×月平均単価から算出した粗収益の2年間平均（H28～R2東京都中央卸売市場統計より）
 (*2) 肥料費、農業薬剤費、光熱動力費、土地改良及び水利費、物件税及び公課諸負担、減価償却費（養成圃場管理費含む）、修繕費、小農具費
 (*3) 利率1.05%、借入金残高を設備投資額の1/2として試算 (*4) 県内参考賃借料平均 (*5) 出荷資材費、流通手数料、運賃、その他の販売経費
 (*6) ‘エナジーGB’、‘パワフルGB’の調製能率と商品一本重の回帰式 $y=1.13x-4.32$ より試算
 但し‘エナジーGB’の春どりは抽苔期に当たることから、実際よりも高く見積もられている。
 (*7) 調製以外の作業時間はニラ経営指標を元に試算

【栽培概要】	
試験場所	最上産地研究室圃場（新庄市角沢） 栽植密度：条間 0.5m、株間 0.25m(8000株/10a)
播種	平成30年4月22日、448穴セルトレイ（みのる産業社製）、3粒播き、げんきくんネギ培土
定植	令和元年6月5日
施肥量	(N:P ₂ O ₅ :K ₂ O(kg/10a))：基肥 平成30年及び令和2年；20.0：18.5：36.5、令和3年；9.6：12.2：27.6 追肥(共通)毎収穫後 2.0：1.3：1.8
刈捨日	夏どり：令和2年7月2日、令和3年7月1日、秋どり：令和2年8月24日、令和3年8月30日
その他	調製作業は産地研職員が手作業で実施、収穫は平均葉長45cm、最長葉長50cm程度を目安とした

[その他]

研究課題名：これらの機械化一貫体系による省力栽培技術の開発

予算区分：県単 研究期間：令和3年度（令和2～4年度）

研究担当者：浪波史子、森和也、庄司拓也、新關瑛莉子 発表論文等：なし